

2023年度 第3回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2023年6月22日（木）

場 所 豊岡稽古堂3階 交流室3-1

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後3時30分

閉会時間 午後4時50分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	升田 敏行

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	教育総務課参事（給食センター所長）	本庄 昇
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	吉本 努
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

佐伯 和亜 委員

第2 前回の会議録の承認

2023年5月17日（水）開催 第2回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第14号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について
- 議案第15号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について
- 議案第16号 豊岡市奨学生の選考について
- 議案第17号 2023年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について
- 報告第8号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について
- 報告第9号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について（豊岡市保育対策総合支援事業補助金）
- 報告第10号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について（豊岡市物価高騰対策事業補助金）
- 報告第11号 令和5年6月市議会答弁概要について

第5 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の進捗状況報告について

2 学校教育課

- (1) 生徒指導について
- (2) 豊岡市「学校における働き方改革」推進方針について
- (3) 令和5年度学校園訪問日程について
- (4) 令和5年度教科書展示会について

3 社会教育課

- (1) 社会教育基本計画・第1回策定委員会の開催報告について

第6 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後3時30分

(教育長)

ただ今から、2023年度第3回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は佐伯委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。5月17日に開催しました第2回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回5月17日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

5月24日に但東地域の春季市政懇談会に出席しました。たくさんの意見が出ました。区長協議会から「但東地域は人口減少が顕著である。5年後、10年後がどうなっているのか心配」「但東地域に未来を感じられない」などの厳しい意見が出る中、「人が住みたくなるまちづくりとして、特色ある教育を進めてほしい」というお願いもありました。その中で、具体的に「学校でドローンの教室を行ってはどうか」という意見がありましたが、「どのようなことに取り組むにしても、現在、カリキュラムが肥満化しているので、これ以上、カリキュラムに上乘せして取り組むことはできない。ただ、方法は一つあり、それは義務教育学校を導入し、柔軟なカリキュラムを編成することである」と回答しましたので、そのことが学校再編の今後の布石になればとの感想を持ちました。

また、5月29日には竹野地域の春季市政懇談会に出席しました。その中で「施設一体型小中一貫校について、地域住民は知らないのではないか。もっと周知しなければならないのではないか」との意見が出ましたが、市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定時からこれまで、竹野地域だけで8回の説明会を開催してきました。いずれにしても、これから施設一体型小中一貫校をどのように開設するのかということについて開設準備委員会で協議していきますので、機会を見て「現在、こうしたことを話し合っている」という情報を地域住民に提供していくのがよいと思いました。

それから、6月9日に芸術文化観光専門職大学へ協議に行ってきました。大学での協議は「とよおかがんばりタイム」についてでした。豊岡南中学校において、将来、先生になりたいという

豊岡高等学校の生徒たちを指導者にし、がんばりタイムを実践したところ、大変効果があり、「生徒たちがとても喜んで、学習に取り組んだ」との感想も聞かれました。理由としては、年齢が同じくらいで、とても距離感が近く感じられ、一生懸命実践してくれたことがよかったということでした。

このことは、生徒たちの職業体験のようなものです。そこで、芸術文化観光専門職大学では来年度学生が4年生になるため、時間も融通でき、中には家庭教師をしたい学生もいるようなので、大学にそうした学生に中学校や小学校高学年でがんばりタイムに協力してもらうことができないかを相談させていただきました。大学からは、がんばりタイムの学生募集チラシを大学内で配り、学生に「がんばりタイムのアルバイトがあるけれども、やってみてはどうか」などの周知のための協力はできるとの返事がありました。ただし、実践する学校は大学の学生が暮らす豊岡地域の学校等に限定することになるかもしれません。今年度中に試みることができるのか、あるいは来年度に向けて利用する学校を募るなど取り組んでいきたいと考えています。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。議案第14号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について、議案第15号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について、及び 議案第16号 豊岡市奨学生の選考については、人事に関する事案となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17号により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第14号から議案第16号までは非公開といたします。傍聴いただいている方は申し訳ありませんが、非公開議案が終了するまでご退席をお願いします。

○ 議案第14号 豊岡市立図書館協議会委員の任命について

【非公開会議】

≪ 豊岡市立図書館の設置及び管理に関する条例第17条の規定に基づき、豊岡市立図書館協議会委員の任命について、社会教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された ≫

○ 議案第15号 豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について

【非公開会議】

≪ 豊岡市いじめ防止対策委員会及び豊岡市いじめ調査委員会条例第3条の2項の規定に基づき、豊岡市いじめ防止対策委員会委員の任命について、学校教育課長が説明し、審議の結果、原案のとおり可決された ≫

○ 議案第16号 豊岡市奨学生の選考について

【非公開会議】

《 豊岡市奨学生の選考について、応募者の状況及び奨学生選考委員会意見を教育総務課長が説明し、審議の結果、2023年度の奨学生が決定された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。非公開議案のため退出いただいた傍聴人の方には、お入りいただくよう案内をしてください。

(教育長)

続きまして、議案第 17 号 2023 年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第17号 2023年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について

《教育総務課長の説明概要》

2023 年度教育委員会の点検・評価報告書の決定について、資料に基づき説明する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、2022 年度事業の教育委員会の点検・評価報告書（案）を作成した。4 月の教育委員会協議会、5 月の教育委員会会議において、外部有識者の総評を除く内容を確認していただいた。

今回、外部有識者である安藤准教授の総評をいただき、総括意見、豊岡市の教育に求められるもの、2022 年度教育施策の取組について、成果があった取組、改善や見直しが必要な取組、今後の教育施策の取組について意見をいただいている。

この点検・評価報告書（案）の内容で決定してよいか、審議いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第 17 号 2023 年度教育委員会の点検・評価報告書を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

原案のとおり決定します。この決定を受け、教育委員会の点検・評価報告書を市議会議員へ配布するとともに、市ホームページで公開します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第 8 号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について、教育総務課参事（給食センター所長）の説明をお願いします。

○ 報告第8号 豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について

《教育総務課参事（給食センター所長）の説明概要》

豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命について、資料に基づき説明する。

P T A役員以外の委員は既に決定していたが、この度、P T A役員6名の推薦があり、委員として任命することを報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、資料のとおり、豊岡市学校給食センター運営委員会委員の任命することをご承知おきください。

続きまして、報告第9号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、幼児育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第9号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

《幼児育成課長の説明概要》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市保育対策総合支援事業補助金について、静岡県で起きたバスの置き去り事故を受けて、国の実施要綱の改正に伴い、改正するものである。

内容は、対象経費に送迎用バスの置き去り防止対策に必要な装置等を追加すること、新型コロナウイルス関連において一部内容を変更することである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

スクールバスなどは、対象にはならないのでしょうか。

(幼児育成課長)

対象は、未就学児施設になっていますので、補助金という形で出すものが7台あります。全但バス株式会社が所有している車両が4台、株式会社北前館が所有している車両が1台、このとおり認定こども園が所有している車両が2台であり、合わせて7台分が補助金の対象になります。

全体としては13台を予算化しており、そのうち6台分は豊岡市が所有しているバスであり、

そちらの分は備品という形になります。

(佐伯委員)

置き去り防止対策の装置は、どのようなものでしょうか。

(幼児育成課長)

置き去り防止装置にはいろいろなタイプのものがありますが、原理からいうと、人感センサーみたいなものがあり、停車をして、後部座席まで行って確認しないとブザーが止まらないような装置になります。バスの運転手が後部座席まで行って子どもがいないか確認し、何かしらの操作をすることを想定しています。人的なことと技術的なことを組み合わせたようなものになります。

(升田委員)

装置はいつごろ取り付けられますか。

(幼児育成課長)

現在、装置の入荷待ちの状態であり、入荷次第、速やかに取り付けを行いたいと考えています。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第9号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第10号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、幼児育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第10号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

《 幼児育成課長の説明概要 》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市物価高騰対策事業補助金について、物価高騰の影響を受けている私立保育所等の給食提供にかかる食材料費を一部支援するものであり、昨年度も実施していた。

昨年度は、4月から9月までの部分を物価上昇率4.1%、10月から3月までを6%とみていたが、今回の改正では、4月から3月までを物価上昇率6%相当分とみて、年間分を補助する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第 10 号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 11 号 令和 5 年 6 月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○ 報告第11号 令和 5 年 6 月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和 5 年 6 月市議会答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和 5 年 6 月市議会の答弁概要について、ご承知おきください。

【日程 第 5 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第 5 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の進捗状況報告について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の進捗状況報告について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の進捗状況報告について、資料に基づき説明する。

1 点目は、福住・寺坂小学校・幼稚園の統合についてである。5 月 30 日に第 1 回統合準備委員会を開催した。当日は、正副委員長と各部会の構成について決定した。統合後の校名・校歌・校章及び校旗については、現在の福住小学校のものを使用すること、寺坂小学校の歴史を引き継ぎ、学校銘板や校歌等を福住小学校で展示することが確認された。今後については、各部会を中心に統合の協議を進めていく。

2 点目は、小坂・小野小学校の統合についてである。小坂・小野小学校については、豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画では、2025 年度に統合する計画であり、まず、両地区の住民

に対して、計画内容について説明する。小野地区については、7月19日に説明会を開催する。小坂地区については、地区と相談の上、開催する予定である。

3点目は、竹野地域小中一貫校についてである。6月26日に第2回開設準備委員会を開催する。第2回開設準備委員会では、5月26日に実施した鳥取市立江山学園の視察について報告を行ったあとに、小中一貫校の形態として義務教育学校とすることについて、賛同を得たいと考えている。開設準備委員会で賛同が得られれば、7月の定例教育委員会において、義務教育学校とする方針について決定したいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、学校教育課からの報告に移ります。(1)生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

2 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

説明にあった不登校の子どもは、教室には入れているのでしょうか。

(学校教育課長)

現在は教室に入れています。修学旅行前は保健室登校等から始めていき、徐々に教室に入れてきたということです。

(向井委員)

周りの友達の声掛けがあったということですね。

(教育長)

そのことも一つの要因だけれども、そのことは昨年度でも取り組めたことであります。昨年度は、その子どもの心が学校や大人が言う提案を全く受け付けない状況だったのですが、徐々に子どもの心がほぐされてきたこと、学級担任が変わるといふ変化があったこと、そのため対応方針

が変わってきたことなど、いろいろなアプローチをした結果、たまたまうまくいったのです。もちろん家庭も一生懸命に関わっていたこと、スクールカウンセラーが相談に乗っていたこともあります。

だから、不登校対策では、一つのことが解決の決め手になることは少なく、いろいろなことを、いろいろな形で、誰もが取り組んでいくことが必要だということを、今回の事案によって私たちも分かったところです。

(教育長)

その他、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 豊岡市「学校における働き方改革」推進方針について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 豊岡市「学校における働き方改革」推進方針について

《学校教育課長の説明概要》

豊岡市「学校における働き方改革」推進方針について、資料に基づき説明する。

方針は、2023 年度から 2025 年度までの 3 年間で定めている。これまでは、目標を「時間外在校等時間が週 60 時間を超える教職員をゼロにする」としていた。つまり、週 5 日勤務で、1 日 12 時間を超える教職員をゼロにするとしていたが、国の指針も出ているため、今回の方針では、目標を「時間外在校等時間が月当たり 45 時間を超える教職員をゼロにする」としたいと考えている。

主な変更点については、4 点ある。取組 1 「意識の向上」における取組「勤務時間の明示」である。市民や保護者に教職員の勤務時間を周知できていなかったため、積極的に勤務時間を明示していこうと考えている。また、取組「部活動地域移行に向けた研究」を挙げ、現在進めているところである。

取組 2 「業務量の削減・効率化」における取組「先進事例集（GPH100）の活用」である。兵庫県の先進事例集を積極的に活用したものである。

取組 3 「外部人材や専門スタッフの活用」における取組「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進」である。また、取組「指導補助教員、特別支援教育支援員、事務補助員、外国語指導助手（ALT）、スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員等の配置」である。

今後、校園長会で方針について説明した上で、各学校に周知したい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 令和5年度学校園訪問日程について、学校教育課長の説明をお願いします。

(3) 令和5年度学校園訪問日程について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度学校園訪問日程について、資料に基づき説明する。

7月の学校園訪問は、7月5日に豊岡幼稚園、7月7日に資母認定こども園である。2学期以降の訪問については、これから日程を調整する。

なお、2021年度、2022年度の教育委員の訪問状況を見ながら、今回、学校園を割り当てている。委員の都合等により、訪問先の変更も可能である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 令和5年度教科書展示会について、学校教育課長の説明をお願いします。

(4) 令和5年度教科書展示会について

《学校教育課長の説明概要》

令和5年度教科書展示会について、資料に基づき説明する。

今年度市内小・中学校で使用の教科書、来年度高等学校で使用予定の教科書を、6月28日から7月14日まで、図書館本館2階の展示ホールにおいて展示する。なお、6月30日、7月4日、7月11日は図書館の休館となる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、社会教育課からの報告に移ります。(1) 社会教育基本計画・第1回策定委員会の開催報告について、社会教育課長の説明をお願いします。

3 社会教育課

(1) 社会教育基本計画・第1回策定委員会の開催報告について

《社会教育課長の説明概要》

社会教育基本計画・第1回策定委員会の開催報告について、資料に基づき説明する。

6月16日に第1回豊岡市社会教育基本計画策定委員会を開催した。第1回策定委員会では、委員への委嘱状交付、それから、委員長には大分大学大学院教育学研究科の清國祐二教授を、副委員長には元豊岡市社会教育委員の太田博章さんを委員の互選により選出した。また、豊岡市社会教育基本計画策定委員会設置要綱の概略等を説明した。

議事においては、豊岡市の社会教育の現状説明、計画策定の概要、策定スケジュールについて、審議いただいた。計画については、今年度内に策定する予定としていたが、策定委員から「市における社会教育に関わる各種個別計画との整合性を図るために、もう少し時間が必要ではないか」といった意見をいただき、2024年7月を目途として策定する方向で調整している。

策定委員会終了後には、委員長の清國教授に「地域づくりにつながる社会教育の役割」と題して、講演いただいた。策定委員会の委員・市職員・市議会議員・コミュニティ等の関係者、約40名に参加いただいた。

今後も教育委員の皆さんには、策定委員会の進捗状況について随時報告し、教育委員協議会において計画案に対する意見等をいただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第6 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第6 こども未来部からの報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数は、延べ130人、実数16人である。5月の開所日数は20日間で、平均すると1日6.5人が通ってきていた。前月は4.6人で、昨年同月は1.7人であり、増えている状況である。4月からの実人数は19人となり、そのうち今年度から利用している子どもは7人いる。今年度から利用している子どもたちが日々通ってきている。

それから、4月と比べると、子どもたちの関わり、関係性がとても深まっていることを指導員からは感じている。ある日の昼休みに、リラックスした状態の中で、子ども同士で「なんで学校に行けへんようになったの」と話していたと指導員から聞いている。

特別支援の取組状況は、5月の連休が終わり、通常の教育活動になった状況があるので、学習や生活面での課題が表出し、相談件数が増えた月であった。相談件数は全体に関わってくるものである。相談員は、5月の特徴として、10件中9件が「自分の思いが伝えられない」「友達とのコミュニケーションが取りにくい」との内容であり、目立った印象を受けていた。このことは、コロナの収束が見え、通常の教育活動が戻ってきたことが影響しているのではないかと、よって、コミュニケーションに関することが子どもたちの負荷として数字に表れたのではないかと感じている。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が7件、4世帯7人である。家庭相談員の対応件数は555件である。訪問回数は71回であり、5月も依然多い状況が表れている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。

(飯田委員)

1点目は、6月に陸上競技記録会等があり、役員として出席しました。中学校1年生から3年生、一般の方が参加していました。コロナの影響もなく開催され、参加者は皆生き生きと頑張っていました。世の中がよい方向に向かっているなど大変嬉しく思いました。

2点目は、先日、中学生と一緒に花の定植をしました。子どもたちには主体的に作業してもらいたい思いから、「当日は作業できる格好と準備をお願いします」と頼んでいましたが、集まってくると、作業の準備をしてきた子どもはいませんでした。子どもたちは、定植するために必要な移植ごてや軍手を持ってきたり、けがをしにくい服を着てきたり、安全な靴を履いてきたりするなどの準備をせずに、自分が何をすべきかを考えずに集まってきたことがとても残念でした。

日頃から土に触れることなく、家庭でもそうした環境がないため、作業に不慣れなのだと思います。私たちが子どもの頃は、畑に行って植物を植えたり、虫に噛まれたりしたことが日常的であり、体験を通して学ぶ機会がたくさんありました。学力だけではなく、生きていくためには体験活動が大事であり、人間として何が必要なのかということを見ても見なければならぬと痛感した1日でした。

(向井委員)

2日間、ファミリーサポートセンターの講習会に参加しました。現在、まかせて会員には5年

に1回、救命救急講習の受講が必須化されています。私は別の機会に救命救急講習を受けていたので、講義だけ受講しました。講師の看護師から「子どもを預かることの慣れから、うっかり忘れてしまうことがあるので、その点を注意しなければならない」ことを聴き、しっかりと胸に留めておかなければならないと思いました。けがをさせる前に予防的措置を取るなど改めて勉強させていただいたことが多く、こうした機会を得られてよかったと思いました。

市幼児育成課の職員と市子育て総合センターの永田先生による講義は、とても素晴らしい内容でした。「子どもは2歳までに人格の基礎が形成され、その間にいかにかくさんの愛情を注ぐことが大切か」という内容で、大変興味深く聴かせていただきました。特別な支援が必要な子どもが増えています。これからどのように愛情を注いでいけばよいのか、どのように見守ればよいのかを深く考えさせられました。今年度、講習会に放課後児童クラブの支援員の方々がたくさん参加していました。また、今年度から幼児育成課幼児保育係の職員が放課後児童クラブに出向いて、支援員にアドバイスができるようになったため、心強くて、ありがたいことだと思いました。たくさんの支援員が参加されたこと、そして、参加された皆さんが一生懸命勉強されている姿勢が大変頼もしく感じられました。

社会教育講演会では、人づくり、地域づくりが大切であるという内容でした。改めて自分には何ができるのかを考えさせられました。具体的に何かしら行動することは難しいですが、日頃子どもたちと接する中で、子どもたちが大きくなったときに「もう一度、豊岡に帰りたい」と思ってもらえるよう心掛けて関わっていきたいと思いました。

(佐伯委員)

トライやる・ウィークの視察で、株式会社植村畳、Veggie de +、株式会社タカアキの3つの事業所を回らせていただきました。いずれの事業所においても、子どもたちが楽しそうに活動しているのがとても印象的でした。鞆の株式会社タカアキでは、子どもたちは自分たちの手で豊岡鞆を1つ作り上げる作業にチャレンジしました。子ども1人にミシン1台を割り当ててもらい、社員の方が子どもたちに付いて教えてくださっていて、子どもたちはとても贅沢な1週間を過ごしていました。とても人気のある活動の一つであり、社員の方に「来年、受け入れる人数が増えたらどうしますか」と聞くと「10人ぐらいまでなら受入れ可能です」と話されていました。子どもたちはいろいろな事業所でよい経験をしており、肌で感じるふるさと教育になっているのではないかと感じました。

トライやる・ウィークの受入れ事業所として、FMジャングルでも3人の女子生徒に職場体験をしてもらいました。「とにかく最終日には番組を仕上げられるよう頑張ろう」と話していました。にもかかわらず、最終日に大雨警報が発表され、保護者からは「子どもが夜遅くまで一生懸命、台本を読み込んでいて、とても楽しみにしていました。警報が発表され、活動に行けないと聞き泣いています」と連絡を受けました。生徒たちにやり切ったことを感じてほしくて、学校と相談し、改めて日曜日に来てもらい、収録により番組を作り上げてもらいました。活動をやり切ったあとの3人の満足した笑顔がとても素敵でした。保護者や先生たちにも声を掛けたところ、見に来てくださったので、かえってよい活動になりました。

トライやる・ウィーク最終日前日には事業所の皆さんも「じゃあ、また、明日ね」と子どもたちに声を掛けていたのに、大雨警報により最終日の活動がなくなってしまって、子どもたちも事業所もお互い残念な気持ちになっていたようです。生徒の中には「お礼のあいさつをしたい」と

申し出て、いくつかの事業所に、後日お礼に行った子どももいると聞きました。そうして、自分たちで最後までけじめをつける行動が取れたことは素晴らしいと思いました。

それから、植村直己冒険賞授賞式・記念講演会については、通常の形で開催され、府中小学校の児童の合唱や日高東中学校・日高西中学校の生徒の質問タイムもありました。子どもたちも会に関わることができ、とてもよい時間を過ごせたと思います。質問タイムでは、実際に質問が出るのか事務局が心配していたそうですが、笑いが起きるような、子どもらしい質問が次々と出て、「もう時間切れです」と止められるほど盛り上がっていました。

このようにコロナが落ち着いて、通常どおりの行事がたくさん開催されることは本当に嬉しいことだと思いました。

(升田委員)

5月17日から教育委員として関わらせていただき、また市広報等にも就任の記事を掲載していただいたため、たくさんの方から「ご苦労さまです」と声を掛けられました。たくさんの方が市広報等を見ておられるのだと再認識させていただきました。

コロナ禍が過ぎて、地域に人が戻ってきたことを実感しています。現在、東井義雄記念館で勤務していますが、今年の4月以降、団体など約140の方が来られています。昨年度は全く来館されることがなかったので、たくさんの方が動き出していることを実感しています。東井義雄記念館では、東井先生の教を一生懸命考えたり、また教を引き継いでいきたい思いがあります。先日、長崎県から来館された方がおられました。その方は、一日中、記念館に一人でおられ、東井先生の教育を熱心に感じ取っているようでした。「また地元に戻って、学校の先生たちと一緒に考えてやっていきたい」という思いを長時間、熱心に語られていました。来館される中にこうした方がたくさんおられると思うと、地元の子どもたちや先生たちにも、改めて東井先生の教育に触れてもらいたいという思いを持ちました。

トライやる・ウィークでは、但東中学校の生徒1人が東井義雄記念館に来てくれました。生徒は今年4月にドイツから転入してきたので、「学校はどうか」と尋ねると「先生も友達も非常に僕に関わってくれる」と答えました。ドイツではそうした経験がなかったので、最初は戸惑ったのですが、「最近は慣れました。そうやって関わってくれるほうが嬉しい」と言うのです。先生方が一人一人の子どもに寄り添って、いろいろな活動をされていることが伝わってきましたし、嬉しそうに話していたので、よいことだなと感じました。

最後に、先日歩いていると、下校中の子どもたちとすれ違いました。小学校低学年の児童2人が笑顔で帰ってくるころでした。その子どもたちの様子を見ると、今日は学校で面白いことがあったのだろうと思いますし、家に帰るのも嬉しそうだなと感じられました。「こんにちは」とあいさつをすると子どもたちも「こんにちは」と返してくれました。楽しそうな子どもを見て安心しますし、学校がしっかり対応しておられると思います。家庭でも子どもと優しく接しておられるのだろうということが感じられました。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第4回定例教育委員会会議は、7月20日（木）午前10時00分から、本庁舎7階 第3委員会室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

（教育長）

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

（飯田委員）

先日、神戸新聞に八代小学校の小規模特認校導入の記事が載っていました。現在、どのような動きになっているのか教えていただきたいです。

（教育総務課長）

最近では、芸術文化観光専門職大学と連携について協議しているところです。また、演劇的手法を用いた教育については、10月以降に芸術文化観光専門職大学の先生や学生に関わっていただいて、取り組んでいく予定だと聞いています。

来年度に向けての募集に関しては、今後、教育委員会内で調整を図っていくこととしています。

（飯田委員）

良い方向に進むよう期待を持っています。

（向井委員）

終業式と始業式の日程を教えてください。

（学校教育課長）

終業式は7月20日、始業式は8月28日になります。

（向井委員）

教育委員の体育祭への出席については、予定されていますでしょうか。

（教育長）

教育委員の皆さんには出席いただく方向で進めています。今年度、体育祭は通常どおり実施しますので、以前とどう違うのかという視点で見ただけだと思います。

（教育長）

その他、ご質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は7月20日(木)午前10時から、本庁舎7階第3委員会室で開催します。

これをもちまして、第3回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後4時50分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2023年6月22日

教育長

委員